

○Junos ノ讀方ニ就テ一言スル (久内清孝)

ゆずハ田中長三郎氏が柑橘研究第 II 卷 2 號 p. 250 デ述ベラレテ居ル所ニ依レバ“西藏東部雲南貴州甘肅”ノ由デアルガ古クカラ日本ニ存シ學名ハ日本産ノモノデ命名サレタ。SIEBOLD ノ用ヒタ epithet デアル Junos ガ現行規則上有效デアルカ否ヤハ別問題トスルトシテモ、現在ノ様ニ rank ノ如何ニ關セズ之ガ用ヒラレテ居ル以上、何ント讀ンデヨイカ若干ノ好奇心ヲ呼び起サセナイデモナイ。勿論ラテン語トシテ扱フノダカラ、何ント讀ンデモヨイモノハ、多少ノ關心ヲ持タヌ譯ニモ行カナイ。SIEBOLD ノ Synopsis Plantarum Oeconomicarum p. 59 ニハ Junos sive Juzu, Japon トアルカラ、日本デハゆのす又ハゆずト呼ブト云フ事ニナル。然ラバ、ゆのすハ日本語ナノデアル、果シテ然ラバ Junos ナル語ニ我國ノ何處ノ語デアラウカト云フ事ガ問題ニナル。幸ニモ、昨年柳田國男氏一派ニ依リ刊行サレタ、野村傳四郎氏著大隅肝屬郡方言集 p. 23 ニ依リ、ゆのすが今尙九州ノ方言トシテ殘存スルコトガ明ニサレタ。シテ見ルト、Junos ハ獨逸式ニゆのすト發音スルノガ自然デアル様ニ思ハレル。

○ふうてうさうノ學名 (津山 尙)

ふうてうさうノ學名トシテ、牧野富太郎先生ノ日本植物圖鑑(昭和 15 年)ヤ正宗嚴敬氏ノ最新臺灣植物總目錄其ノ他ニハ *Gynandropsis gynandra* (L.) MERRILL (Enum. Philip. Flow. Pl. 2, p. 209, 1923) ガ採用サレテキルガ、若シコノ組合セガ用ヒラルベキモノナラ、ソレヨリモ更ニ出版年代ノ古イ *G. gynandra* (L.) BRIQUET (in Ann. Conserv. et Jard. Bot. Genève 17^{me} année, p. 382, (1914) ヲ用フベキデアル。

○日本ニ於ケル本郷草科ノ初發見ノ歴史ノ一駒 (津山 尙)

伊勢、三重郡、楠村ノ本郷寺岡、今井、植松ノ三氏が發見シ、牧野先生ガ *Sciaphila japonica* MAKINO ほんごうさうト命名サレタノガ日本デ本郷草科ヲ發見シタ初マリデアルト言フコトニナツテキル。所ガ實ハ小笠原島ノ *Sciaphila Okabeana* TUYAMA すずふりほんごうさうノ方ノ發見ガヨリ早カッタノデアル。東京帝大理學部植物學教室ノ腊葉庫ノ中ニ“*Apteria setacea* NUTT. July 7, 1884, 新ヘゴノ根ニ生ズ”ト大久保三郎氏ノ手デ書カレ、後ニ牧野先生ノ手ニヨツテ“(determ. S. OKUBO) *Sciaphila?* sp. (T. MAKINO)”ト書キ添ヘラレタ一枚ノ標本ガアル。コレハ恐ラク小石川植物園ノ大温室ニ小笠原島カラ當時新タニ移植シタヘゴニ發生シタ植物デアツテ當時ハ不明ノ儘ニナツテキタモノデアラシイ、コノ標本ハ若クテ、貧弱デアルケレドモ今日小笠原ノ父島ニ多クアルコトガ判ツタ上述ノ *S. Okabeana* ニ違ナイ。即チ日本ニ於ケル本郷草科ハ當時ノ東京帝大植物學教室ノオ膝下デアル小石川植物園デ發見サレナガラ、遂ニ本郷デノ發見迄明カニサレナカッタノデアル。牧野先生ノ御加筆モコノ後ノコトニ違ヒナイガ、イヅレニシテモ、最初ノ *Sciaphila* ノ鑑定者ガ牧野先生デアルコトハ間違ガナイコトデアル。小石川植物園ニハ今デモ當時圖工ニ描カシメラレタ着色ノ寫生圖ガ保存サレテキル筈デアル。